

方針3 「人」と「知」の基盤づくり

# 8 教育再生プロジェクト

～良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～

## 目標

子どもたち一人ひとりが、学力や体力、人間性を身に付け、自らの人生を切り拓き、社会に貢献できる人材として育つとともに、県民誰もが生涯にわたる学びを通じて自己を磨き、豊かな人生を送ることができる教育県をめざします。

## アクション1

(学力・体力の向上と多様な学習機会の提供)

子どもたちの学力や体力を向上させるとともに、一人ひとりの個性に合った多様な学習機会を提供します。

### アクション1 関連事業

※網掛けが今回点検対象事業

区分	事業名	事業内容及び実績	決算額 (千円)	成果目標の達成状況(H25)		
				項目	目標	成果
学力・体力の向上	活用方法選択型教員配置事業	中学校3学年まで30人規模学級を拡大し、小・中学校の全学年で少人数学級編制等による、児童生徒の一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図った。 ・小学校30人規模学級編制(小2～6) ・中学校30人規模学級編制(中1～3) ・学習習慣形成支援(小1・2) ・少人数学習集団編成(小3～6、中1～3) ・不登校等児童生徒支援(小・中全学年)	4,814,400	基礎的基本的な内容の定着度(小中学校)	小62.1 中56.8	小64.7 中54.5
				小・中学校における不登校児童生徒在籍率	1.12	1.18
学力・体力の向上	「未来を拓く学力」の向上推進事業	(1)学力実態を把握し、確実に定着するまでの仕組みを強化し再構築 ・P調査C調査ともに30分程度の問題にする。対象学年・教科を小学校5年国語・算数、中学校1年数学、中学校2年国語・数学・英語とし、学力実態を把握できるよう内容を充実。(10～12問の構成) ・定着確認問題を作成・提供し、学年における定着を徹底。(小5、中2) ・日常的に定着を確認できるように、クリア問題・チャレンジ問題を単元ごとに整理・拡充。 (2)学力上位県の取組に学び、教員の意識を高める ・上位県(秋田、福井等)の指導主事等による講演会を実施する。(学力向上ミーティング) (3)家庭学習を見直し、家庭と一体となって授業と連動した家庭学習にしていく。 ・モデル校2校(辰野中、堀金中)による家庭学習モデルの構築と研究成果の発信 (4)学級規模に応じた指導法の研究と授業の基本の再徹底により、30人規模学級の効果を最大限に引き出す ・学級規模(30人規模学級等)の特色が生きる指導法等について信大と協同研究し、成果を普及させる。	4,985	授業がよく分かると思われる児童生徒	74.2	76.8
				基礎的基本的な内容の定着度(小中学校)	小62.4 中57.2	小64.7 中54.5
				平均の半分以下となる児童生徒(小中学校)	小 5.2 中10.1	小 5.1 中11.8
				学習したことを実生活で活用する力(小中学校)	小58.4 中54.2	小59.7 中52.3
				中3で英検3級レベルを有する割合	26.0	28.2

区分	事業名	事業内容及び実績	決算額 (千円)	成果目標の達成状況(H25)		
				項目	目標	成果
学力・体力の向上	長野県版「運動プログラム」普及事業	出前講座形式で長野県版運動プログラムの普及を図った。 ・幼・保育園、小学校の教職員、地域の指導者、保護者を対象とした「運動遊び」出前講座の開催・・・5地区で10回開催 ・小学校児童を対象としたスポーツ教室の開催(走り方を中心とした実技講習会)・・・10校で開催 ・中学校生徒を対象としたスポーツ教室の開催(コアトレーニングを中心とした運動実技講習会)・・・15校で開催	515	体力合計点(点)	49.6	49.3
				体力合計点の全国順位(位)	29	29
発達障がい支援者への支援	発達障がい者支援事業	・発達障がい者に直接かかわっている支援者に対し総合的な助言や必要な支援への橋渡しを行う「発達障がいサポート・マネージャー」を4名配置し、4名を新規に認定。 ・10圏域12名の療育コーディネーターに委託した市町村サポートコーチが年代や分野を越えて情報を共有するツールの普及を実施。 ・アセスメント及び支援手法等の研修や実践報告会の実施、その他支援者への技術支援や講師派遣を実施。 ・発達障がい者支援対策協議会を2回、4つの部会を計8回開催し、県の発達障がい者支援対策を協議。 ・発達障がいの基本的な内容をわかりやすく学べる発達障がい者サポーター養成講座の実施し、2,483名が受講。 ・医師の診療技術の向上や情報交換を行う「発達障がい診療地域連絡会」を圏域ごと、4ブロックごとに計16回開催。	32,379	発達障がいサポート・マネージャー配置圏域	4	4
				情報共通ツール活用市町村数	16	22
				発達障がい者サポーター養成数(人)	2,000	2,483
				発達障がい者サポーター養成講座講師のいる市町村数	77	71
多様な学習機会の提供	発達支援を専門に行う学びの場づくり検討事業	これまでとは違う形で発達支援にアプローチする「学びの場」を誘致するため、以下の事業を実施し、誘致を実現した ・審査委員会の開催(プレゼンテーション、審査)	75	誘致数	1	1
多様な学習機会の提供	発達支援を専門に行う学びの場づくり開設準備事業	社会福祉総合センターの改修を行い、学びの場の開設準備を実施	3,137	開設準備	—	—
多様な学習機会の提供	少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり支援事業費	少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくりについて、市町村と共に検討し、「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境のあり方及び支援方策」を策定した。	816	指針等策定(件)	1	1

アクション  
2

(地域に開かれた信頼される学校づくり)

コミュニティスクールなど、家庭や地域が小・中学校を支える仕組みを構築し、地域に開かれ信頼される学校づくりを進めます。

アクション  
3

(農林業体験など体験活動の推進)

子どもたちの社会性や自主性を育むため、小・中・高等学校で農林業体験、福祉体験、就業体験など様々な体験活動を推進します。

アクション3 関連事業

※網掛けが今回点検対象事業

区分	事業名	事業内容及び実績	決算額 (千円)	成果目標の達成状況(H25)		
				項目	目標	成果
社会性・自主性の育み	通学合宿普及事業	通学合宿を普及させるための以下の事業を実施 ・実施マニュアルの作成 ・実施事例に実施マニュアルを盛り込んだ普及パンフレットを作成(500部)	250	実施市町村数	17	14
				参加児童数(人)	530	515
社会性・自主性の育み	「ふれジョブ」啓発事業	「ふれジョブ」研修会の開催(南信地域で1回)	61	ふれジョブ実施地区数	10	15
				ふれジョブ実施人数(人)	30	57
体験活動の推進	学力向上支援事業費(キャリア教育支援事業分)	<p>長野県キャリア教育ガイドラインに基づき、地域・社会や産業界が学校を支援する仕組み(プラットフォーム)を構築し、幼保・小・中・高一貫した体系的なキャリア教育を推進</p> <p>(1) 産学官の諸機関・団体が参加する「長野県キャリア教育支援センター」による施策推進</p> <p>① 学校が地域・社会や産業界と連携したキャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界等に職場体験(小中学校)、就業体験(高等学校)や出前授業、講演会を依頼</li> <li>・各市町村にキャリア教育プラットフォーム構築を依頼</li> <li>・産学官が連携して高校生の「ひとづくり」「みらい塾」を企画</li> </ul> <p>② 学校が望む支援と産学官の諸機関・団体が提供できる支援の結びつけ</p> <p>諸機関・団体の施策や取組に係る情報交換、連絡・調整</p> <p>(2) 学校・生徒支援事業</p> <p>① キャリア教育カリキュラムを改革する高校を重点的に支援(先導的カリキュラム改革支援事業)</p> <p>② 進路目標が明確でない高校生、学校生活に悩みや不応傾向のある高校生を支援(社会的自立支援事業)</p> <p>③ 就業体験保険料補助(「ずく出せ修業」修行体験事業)</p> <p>④ 子育て理解教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が乳幼児と触れ合い、親の役割と保育の重要性を学ぶ</li> </ul>	23,065	在学中の就業体験活動参加率(全日制高3)(%)	60.0	60.4
				「就きたい仕事イメージできる」高校1年生の割合(%)	64.0	64.6
				乳幼児触れ合い体験実施高校数	25	25

アクション  
4

(情報活用能力、英語コミュニケーション能力の向上)  
時代の変化に対応できる人材を育成するため、子どもたちの情報活用能力や英語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。

アクション  
5

(高等教育全体の振興)  
地域社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するため、県内の高等教育全体を振興するとともに、県立4年制大学を設置します。

アクション  
6

(生涯にわたる学びの環境整備)  
生涯にわたる学びや学び直しができる環境整備を進めます。

アクション6 関連事業

※網掛けが今回点検対象事業

区分	事業名	事業内容及び実績	決算額 (千円)	成果目標の達成状況(H25)		
				項目	目標	成果
生涯学習 の環境 整備	公民館等による地域課題講座開催支援事業	・県公民館運営協議会等と連携し、6市町村(飯田市・上田市・松川町・麻績村・山形村・朝日村)で、これまで公民館で取り上げられることが少なかった地域課題(若者の自立・社会参画)に関する講座を開催 ・全県対象の研修会を2回、現地市町村での研修会を6回実施	1,634	地域課題取組数(市町村数)	6	6
				公民館職員研修実施回数(回)	4	8
生涯学習 の環境 整備	生涯学習推進センター事業	生涯学習や社会教育関係等の指導者養成講座の実施 (16講座開催、1,649名受講)	8,512	研修講座受講者数(人)	1,400	1,649
生涯学習 の環境 整備	県立長野図書館事業費	・一般県民への貸出、調査相談(レファレンス)等の図書サービスの実施 ・市町村立図書館等との連携・支援相互貸借の実施	118,284	個人貸出冊数(冊)	150,000	138,858
				相互貸出冊数(冊)	4,500	5,125
				調査相談件数(件)	8,000	10,448